



# あさひ

学校だより2月号  
令和3年1月29日  
横浜市立旭小学校

昭和34年4月18日制定

<旭小学校ホームページ> 随時更新しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/index.cfm/1.html>



## 努力の壺

学校長 高桑 透

暦の上ではもうすぐ立春を迎えます。まだまだ寒い日々は続いていきますが、春に向かっていくことを意識しながら生活していければと思います。緊急事態宣言が発令されて1か月近くになりますが、感染のリスクは変わらず高まっています。校内における感染症対策を子どもたちと全教職員で引き続き行っています。また、ご家庭でも手洗い・うがいや検温、マスク着用など、ご協力いただいておりますが、学校外における行動についても、「不要不急の外出はしない。」「人混みの多い場所に行かない。」「大人数での会食場面を作らない。」など、引き続き気を付けて生活をしていきましょう。

さて、次の全校朝会で子どもたちに話をする「努力の壺」について紹介します。

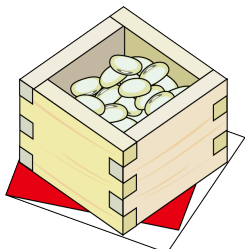
人は何かを始めようとか、できなかったことをできるようにしようと思ったとき、神様から「努力の壺」をもらいます。その壺はいろいろな大きさがあって、人によって、そのやろうとすることによって、大きいやら小さいのやらいろいろあります。

そして、その壺は、その人には見えないのです。でも、その人が壺の中に一生懸命『努力』を入れていくと、少しずつたまっていって、いつか『努力』があふれるとき、できるようになるということです。だから休まずに壺の中に努力を入れていけば、いつか、必ずできる時がくるのです。

でもみなさんの中で、自分はこんなに頑張っているのに、なぜ結果がでないのかと思う時があるでしょう。それは、努力のつぼの大きさがわからないから、努力をどれだけ続ければいいかわからないからです。あと1日努力すればできるようになる、そんなふうにはわかればいいのですが、それはわかりません。ですから、あきらめないことです。あきらめたら終わりです。

努力をしているときは、本当に辛いものです。努力をしても、努力をしても、結果が出ないと限界を感じてしまうことでしょう。でも、「努力のつぼ」というのがあるのです。あと1日でできるようになっているかもしれないのに、あきらめたら何にもなりません。これまで苦労して頑張っている努力の分は、間違いなくそのつぼにたまっています。少しずつですが、確実にたまっているのです。ですから、あきらめずに、休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずあふれるときがきます。このことを信じて、あきらめずに何かに挑戦していきましょう。

今年度も残り2か月を切り、しっかりと努力をして進級進学を迎えることができるように、自分自身を信じてがんばることができるようにこの話をします。子どもたちがくじけそうになったときや、悩んだときには「努力の壺」の話をして、励ましていただけるようにお願いします。そして、この壺があふれる瞬間を体験し積み重ねていくことが、自分に自信をもち、次のチャレンジへのエネルギーになります。子どもたちを信じ、しっかりと支えていきたいと思っております。



### 二月の取組目標

生活目標

寒さに負けずに元気に過ごそう

保健目標

寒さに負けずに元気に過ごそう

清掃目標

掃除の反省をしっかりとしよう

給食目標

寒さに負けない食事をしよう